

今冬の感染状況に対する都の対応

資料 2

東京iCDCや医療体制戦略ボードの専門家と定期的に意見交換を行い、感染動向・医療提供体制への負荷を的確に把握した上で、必要な対策を先手先手で実施

外来医療関係	<ul style="list-style-type: none">➤ 希望する医療機関に対し、都が備蓄する抗原定性検査キットを有償配布 ※検査キットの備蓄残数(1/30時点)：約14万8,000キット
入院医療関係	<ul style="list-style-type: none">➤ 国の基準に基づき、病床確保を「段階1」に移行し、約180床を確保【1/18】➤ 医療機関に対して、確保病床の受入れ対象患者(重症・中等症II患者等)や隔離目的の入院受入れが求められていないことを再周知、確保病床以外での積極的な患者受入れを依頼【1/18】➤ 高齢者等医療支援型施設の体制を維持(8施設・692床)
高齢者施設関係	<ul style="list-style-type: none">➤ 高齢者施設に対して、施設向けの相談窓口、感染対策の助言等を行う即応支援チームの派遣、施設への往診医の派遣等の取組や、隔離目的の入院が求められていないことを再周知【1/17】➤ 施設の職員に対する集中的検査を継続 ※入所施設：PCR週1回+抗原定性週1~2回、通所・訪問系施設：抗原定性週2~3回
都民への情報発信	<ul style="list-style-type: none">➤ 知事定例会見で感染状況を周知、感染防止対策やワクチン接種を呼びかけ【12/22・1/19】➤ 東京都新型コロナ相談センターの電話番号、外来対応医療機関(約5,800機関)のリスト・マップをX(旧Twitter)・LINEで再周知【1/19】